

2016年6月27日
在リオデジャネイロ日本国総領事館

リオ州の治安情報23号

リオ州における文民警察の労働組合ストライキについて

報道及び州文民警察労働組合に確認した情報によれば、リオ州文民警察の労働組合（Sindelpol-RJ）が中心となり、6月27日（月）8時から16時までの8時間、観光客の被害届を受理する観光警察署を含む、ほぼ全ての文民警察署でストライキを実施しています。

この間、リオ州における文民警察の活動は通常の30%の人員で行われています。文民警察観光警察によれば、本日は、急を要する被害を除いて被害届の受理は行わず、また、緊急事件を除いた捜査も行わないとのこと。

同観光警察によれば、ストライキは、27日のみで終了する予定ですが、今週中に、文民警察職員に対する6月分の未払い給料が支払われない場合、来週以降も同様のストライキが実施される可能性があるとのこと。

また、本日午後4時現在、州知事官邸（グアナバラ宮殿）前において、文民警察数百人が集まり、抗議デモを実施しています。

【当館から】

当地では、一般治安維持活動は一義的には軍警察の担当ではありますが、（犯罪捜査、被害届の受理を担当する）文民警察の活動縮小によっても、治安維持上の一定の問題が発生する可能性があります。

報道によれば、既に国から州政府に対する補助金支出が決定しており、州職員に対する給料未払い問題は解決されつつあるとのことですが、状況によっては、来週以降、引き続きストライキが継続する可能性があります。ストが長期化した場合、犯罪被害に遭った際の被害届の提出、その後の捜査に重大な影響がある可能性もありますので、今後の情報に十分注意して下さい。